



●青山高原
標高700～800m。四季折々の景色が楽しめる、ハイキングに最適です。



●大村神社宝殿
春日造の間社で、ヒノキの樹皮で作られた屋根（檜皮葺）は、古くから伝わる単層入母屋造の貴重な屋根です。国の重要文化財。

青山町は初瀬街道の通るまち。お伊勢参りの旅人が足を休めるために立ち寄った阿保宿などの古い町並みが当時をしのばせます。旅籠としてにぎわった「たわらや」には、今も100枚余りの「参宮講看板」が残されています。

また、近くには国の重要文化財に指定されている宝殿をもつ大村神社があります。ここには日本三大奇鐘の一つといわれる「虫喰鐘」などもあり、歴史ファンにとって興味深い所です。

●古い町並みを訪ねよう

青山町は木津川の最上流に位置し、その支流にはアマゴや特別天然記念物のオオサンショウウオなどが生息しています。きれいな川と環境を守るため、町内には「あいがも農法」などによる無農薬米の栽培に早くから取り組んでいる農家もあります。

●川の恵みを大切にしています

自然の恵みと歴史に出合うまち

●ふるさと自慢●

あいがも農法
アヒル類とカモ類の交雑種であるアイガモを水田に放して、雑草や害虫の駆除をしてくれる。無農薬で安全な米とアイガモを同時に育てる農法。



青山町産業課 中義晴



ツツジが満開に咲き誇る中、5月27日(日)に「青山高原つつじクオーターマラソン大会」が行われます。伊勢湾が眼下に見える高原マラソンとしてすっかりおなじみで、毎年、県内外からの大勢のランナーと、大会を支える町民ボランティアのみなさんで青山高原は盛り上がりします。

●自然の中を走ります



●参宮街道珍道中かごかきレース
かつて街道で見られたかごかき(かごを担ぐ人)の格好をして速さを競うユニークなレース。毎年7月中旬に行われます。



●マルタピア原木市場
6万㎡と日本一の売り場面積を誇る市場に、町の特産品でもあるヒノキやスギが並びます。高性能機械を導入し、流通の効率化を図っています。